

# おぢや市議会 だより

NO. 103  
令和4.1.25

編集発行  
小千谷市議会  
☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY

投稿者：千の谷さん      撮影場所：クラインガルテン  
タイトル「越後三山」 冬の晴れ間は最高のご褒美！



- 第4回定例会議決結果 ..... P 2
- 常任委員会報告 ..... P 3
- 一般質問 ..... P 4～10
- 議会報告会 ..... P 11～13
- 議会日誌 ..... P 13
- 雪あかり、編集後記 ..... P 14

— 主な掲載内容 —

# 令和4年新年挨拶



議長 本田 剛

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては健やかな新春を迎えられたことと謹んでお喜び申し上げます。日頃より小千谷市議会に温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。5月の臨時会におきまして、小千谷市議会議長に就任し、新体制でスタートいたしました。小千谷市議会は市民の皆様の声を代弁し、市政発展のため議会運営に全力で努めてまいり所存であります。

新型コロナウイルス感染症が、昨年8月、市内における拡大を受け、小千谷市議会感染症対策支援本部では、大塚市長に対し「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望事項について」を提出、9月定例会では議員発議により採

択し、国や関係機関に提出し働きかけを行っております。感染者数が減少しつつある中、新たな変異株発生により油断できない厳しい状況が続いております。引き続き細心の注意を払いながら社会経済活動を維持し、持続可能な地域社会を作っていくかなければなりません。また、小千谷市の人口減少問題で、出生率の低下に伴い、若い人達の転出超過があげられます。若い世代が地域を支えていく基盤を作る必要があると考えます。9月に市議会からの提言として手話言語条例について、ろう者及び手話に対する理解、普及への取り組み推進を要望しました。また、昨年7月には東栄元中子線が開通、災害時の安全確保と憩いの場としての防災公園がオープンしました。また、東京駅前以小千谷市錦鯉鑑賞池を設置、交流の場となることと思っております。小千谷こい唄のプロモーションビデオも完成し、小千谷市の活性化につながると思いますが、更なるご鞭撻をお願いいたします。皆様のご多幸とご健康を祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

## 第4回定例会 議決結果 (11月30日から12月17日まで開催)

議案番号等		議 件 名	議決状況	議決結果
条 例	議 案 第70号	小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
予 算	議 案 第71号	令和3年度小千谷市一般会計補正予算（第9号）について	〃	〃
	議 案 第72号	令和3年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃
	議 案 第73号	令和3年度小千谷市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃
	議 案 第74号	令和3年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃
	議 案 第75号	令和3年度小千谷市ガス事業会計補正予算（第2号）について	〃	〃
	議 案 第76号	令和3年度小千谷市水道事業会計補正予算（第1号）について	〃	〃
	議 案 第77号	令和3年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算（第1号）について	〃	〃
	議 案 第78号	令和3年度小千谷市下水道事業会計補正予算（第1号）について	〃	〃
	議 案 第81号	令和3年度小千谷市一般会計補正予算（第10号）について	〃	〃
その他	議 案 第69号	専決処分について（令和3年度小千谷市一般会計補正予算（第8号））	〃	承認
	議 案 第79号	小千谷市の公の施設（真人ふれあい交流館）の指定管理者の指定について	〃	原案可決
	議 案 第80号	新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	〃	〃
発 議	発 議 案 第7号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	〃	〃

# 常任委員会報告

## 総務文教委員会

委員長 森本 恵理子

本委員会に付託されました議案第71号、議案第75号から議案第79号まで、以上6件につきまして審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会での主な質疑

○議案第71号 令和3年度小千谷市一般会計補正予算(第9号)

- ・三回目のワクチン接種に向けて
- ・灯油購入助成費の内容について
- ・養護老人ホームの空調設備修繕の理由、今後の改修予定について
- ・エネルギー構造高度化・転換理解促進事業のランニングコスト、国の財政支援について

- ・一般行政事務等委託料の内容、今後の職員確保の方向性について

○議案第76号 令和3年度小千谷市水道事業会計補正予算(第1号)

- ・企業会計への人員配置について

○議案第79号 小千谷市の公の施設(真人ふれあい交流館)の指定管理者の指定について

・指定する団体の決算状況の見解について

## 民生産業委員会

委員長 吉崎 進

本委員会に付託されました議案4件について、慎重に審議した結果、すべて可決すべきものと決しました。

○議案第70号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

本案は出産一時金についての条例の一部を改正するものであり、総支給金額の43万円は変わりません。

○議案第72号 令和3年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

本案は償還金及び還付加算金を2千338万8千円を支出するものであります。

○議案第73号 令和3年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第2号)について

本案は償還金及び還付加算金を9千657万7千円を支出するも

のです。

○議案第74号 令和3年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について

本案は総務費を115万円を減額するものです。



森本 恵理子 議員



新図書館等複合施設について

質問 図書館の運営方式、またそ

他の貸館業務やカフェ、スタジ  
オ等の運営を場所に分けて行うの  
か、一括で行うのか、見解を伺う。

答弁 「食」の場所などを除いて、

現時点では直営及び一部管理業務  
委託を基本として検討していく。

質問 運営コストはPFI想定時

と比較しどのように変わるか。

答弁 事業者が提案する事業収益  
によって運営管理費を圧縮できる  
可能性があるかどうかの違い。現  
時点では、多くの収益事業を期待  
する施設ではないため増える予定。

自殺対策について

質問 自殺未遂を起こした方は再

度自殺しようとする確率が高まる  
傾向にある。救急病院、消防、警  
察等の関係機関との連携強化につ  
いて、効果と課題の認識は。

答弁 当事者の動向や当時の状況、  
関係機関による対応状況等が共有

されるため、多職種連携による早  
期支援につながっている。課題と  
しては、情報分析により、未然に  
防ぐための啓発や特徴を捉えた支  
援を行えるか、が挙げられる。

質問 人間は誰しも強い精神状

態のまま生きられるわけではな  
く、「人間は弱い生き物」という前  
提でその弱さを社会全体が許容  
し、誰もが人を非難したり、追い  
つめたりすることがないような社  
会、環境を作り上げることが大切  
と考える。学校においても夢や希  
望をもって生きることだけではな  
く、夢がなくても将来のビジョン  
が描けなくても、人として劣るこ  
とはなく、ただ生きていくという  
ことだけで本当に素晴らしいこと  
というメッセージ性をもった強い  
働きかけが必要では、と考えるが  
見解を伺う。

教育長答弁

学校において、児童

生徒一人一人はかけがえのない大  
切な存在であり、子どもが安心し  
て過ごせる、自分自身を認めても  
らえるといった体験を重ねていく  
中で、自分や他人の命の大切さや  
尊さを深めていけるように取り組  
んでいく。

駒井 和彦 議員



ポストコロナの観光振興等

質問 ポストコロナ時代の、行政

としての施策と取り組みについて。  
企画及び実施の支援、社会的実証  
実験やモニター事業の実施又は支  
援などを想定、新たな観光商品開  
発に取り組む。

質問 マイクロツーリズム、プレ

ジャー等導入の是非を含め、どの様  
な認識か。

答弁 あれもこれでもではなく、あ

れかこれかの選択が必要。現状、  
麵フェス、うまいもの市、ポケモ  
ンマンホール周遊、特別花火打ち  
揚げ等、新たな企画も進行中。こ  
れらの動きにグリーン、スポーツ、  
健康等、様々な分野で、ツーリス  
ム実施について情報収集する。

質問 ①山本山自然連携・誘客推  
進事業、②遊歩道活用事業、とは。

答弁 ①日帰り旅行者をもターゲ  
ットとした、山本山の景観を活用

した旅行商品開発。②市内2か所  
の遊歩道マップ作成、ホームページ  
掲載、健康、スポーツツーリス  
ムへの展開を期待している。  
質問 山本山の景観整備について。  
答弁 鉄杭撤去は適宜実施。ひま  
わり畑エリア拡大等は、採草事業  
の縮小・廃止の検討の中で併せて  
検討。外来雑草、不快害虫駆除に  
ついては、根治困難だが、出来得  
る限りの対応をしていく。民間業  
者との連携は、既に取り組んでい  
る。駐車場は整備しない。山頂休  
憩所の通年利用は、冬季節除雪未  
実施のため不可能。しかし民間か  
ら利用要望あれば話は聞く。山頂  
休憩所付近の整備は考えていない。  
質問 ゴミ対策について、市民、  
事業者、行政による連携会議体の  
設置は。  
答弁 設置する考えはない。  
質問 観光全般について、観光協  
会とどの様な話し合いをしている  
のか。  
答弁 エリアミーティングに参加  
している。山本山整備含め観光全  
般は行政が行う。その過程で意見  
を聞く事もあるが、協会自体の組  
織成就を期待する。

## 上村 行雄 議員



### 燃やすごみ（可燃物）の処理について

**質問** 時水清掃工場は平成13年度にごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドラインに基づく改造工事を実施したが、基準を満たした安全で安心な施設維持管理がなされているか何う。

**答弁** 排ガス処理施設を整備し、平成14年度から稼働しているが開始から現在まで、法定検査として年2回測定分析を実施しており、いずれも基準値内であります。今後も安心で安全な施設維持に努めていく。

**質問** 地球温暖化対策の取り組みとして、南魚沼市は非食用米とポリエチレンを原料としてライスレジンを使用したごみ袋を使用しているが、当市としても研究や検討の必要性を感じるが見解を伺う。

**答弁** 南魚沼市が地元立地企業による非主食用米を配合した指定ご

み袋を使用していることは承知している。導入については、割高となり市民の負担への影響や国連環境計画によるバイオマス素材を配合したビニール袋は、環境への軽減効果が低いと懸念する報告もあるが、カーボンニュートラル社会を目指す方向への調査研究及び効果について検討する必要がある。

**寄附された時水「習静菴」について**

**質問** 利活用についてどのような方向で検討し、具体的な利活用を計画しているのか。また地元時水町内会とはどのように協力や連携を図っていくのか。

**答弁** 所蔵されている茶器やかけ軸等の整理作業を進め公開も検討している。公共施設として貸し出す場合は、条例制定の必要がある。また観光スポットとして捉えるのであれば、地元・周辺町内や意欲ある団体等による運営が望まれる。これまでも時水町内とは意見交換を実施しており、まず地元との協議から合意形成を諮りながら取り組んでまいりたいと考えている。

## 内山 博志 議員



### 高齢者運転と交通弱者対策

**質問** 高齢運転者の交通事故は、死亡事故につながりやすいといわれている。道交法が2022年6月から変わる。免許の更新が出来ない人が増えるという予想がある。高齢者が生活し、社会参加できる支援が必要だ。デマンドタクシーや地域の取り組みの状況はいかがか。利便性の高いタクシーの支援も一つと考えるが市長の考えはいかがか。

**答弁** 路線バスの廃止や道交法の改正に対応する高齢者の移動手段について検討が必要と考える。地域、生活支援コーディネーター、地域公共交通協議会の協議を踏まえ、取り組んでいきたい。現段階ではタクシー券は考えていない。

**妊産婦医療費助成に所得制限を設けないことについて**

**質問** この制度は、少子化、子育て支援につながると考える。現状

は「制度あって利用者無し」だ。所得制限があるために昨年度は利用者がゼロなのではないか。所得制限を撤廃すべきではないか。また、窓口で一時立て替えさせるのではなく負担軽減のため現物給付にすべきではないか。類似自治体の決算を見れば当市も数百万円で可能だと考える。

**市長** 制度の周知に努める。現時点で所得制限撤廃は考えていない。現物給付はシステムなどに費用がかかるので考えていない。

### 就学援助費の支給について

**質問** 就学援助制度は経済格差が教育格差にならないよう一定の役割を果たしている。国はクラブ活動費も援助の項目に加えている。小千谷市も加えるべきだ。修学旅行費が準備できず、参加できないことがあつてはならない。就学援助者の参加状況はいかがか。不登校の根底に経済的理由があるのではないか。負担を軽減すべきだ。

**教育長答弁** 将来部活は学校教育から切り離される方向性だ。中学生の修学旅行の参加率は要援護者87・5%。その他は96・5%だ。理由は不登校傾向などだ。

# 市政の内容を聞く

# 一般質問

吉崎 進 議員



## 市立保育園の民営化について

**質問** 民営の保育所、幼稚園、認定こども園には施設型給付として、国、県から4分の3の補助があり、昭和50年代から60年にかけて建設された現在の市立保育園は大規模な改修が必要となるが、これには国県の補助がないがどのように考えるか。

**答弁** 平成30年では私立認定こども園より公立保育園全体で3千7百万円が多いものと算出されている。また、施設整備費については、公立保育園は国及び県からの補助金は対象外であり、私立経営による保育園等との明確な違いがある。  
**質問** 出来るだけ早い民営化を実現することが必要と思うが。  
**答弁** 民間でできる事業は民間でという基本的な考え方は変わらないが、公立から民営への事業移行を円滑に進めるためには、十分な説明と事前準備が必要である。

**質問** 高梨保育園の建物が14百万円なのか。さくら保育園は就労支援施設に無償譲渡されたが、この差はと今後現在ある保育園を使用して民営化する場合、無償譲渡してはどうか。

**答弁** 最低売却価格の設定は小千谷市有財産価格要領により算出した評価額から、取壊しに必要な経費を差し引いたものを基準額とし、減額調整により、算出したものである。現在使用されている公立保育園について、施設の譲渡を踏まえた民営化の再配置を検討するとしている。保育事業への資格も拡大しており、複数の事業参入希望がある場合は慎重に対応する。



久保田 陽一 議員



## 山本山の現状と課題、原子力防災訓練及び市内防災士との連携

**質問** おぢゃくるに山本山の自然を伝えるブースの設置等積極的な体制作りやバードウォッチング等利用の双眼鏡を常備すべきでは。

**答弁** 山本山の自然を題材とした動画などを館内モニターで放映するなど山本山の魅力が伝えられるよう努めていく。双眼鏡の常備は現時点で考えていない。

**質問** SNS等を活用して、今までの以上に山本山の魅力発信に努めるべきでは。

**答弁** 引き続き、山本山ネイチャアカデミーからもご協力いただきながら情報発信に努めていく。

**質問** 小中学校の総合学習や高齢者学級で出前講座を開催すべき。

**教育長答弁** 小中学校の出前講座については今後校長会等で各学校に周知する中で、ふるさと学習の一環で取り組むことは可能。高齢

者学級においても山本山の自然を学習できるようなプログラムを検討していきたいと考えている。

**質問** 市長も参加した原子力防災訓練の課題や県への要望等は。

**答弁** 降雪期の対応や物資供給等の支援体制の整備、安定ヨウ素剤の配布方法、スクリーニング検査方法、高齢者などの要支援者や病院、福祉施設などの入所者の避難といったことなど、具体的な避難方法とその実効性が課題と考える。

**質問** 市内在住の防災士とどのような連携や支援を図るのか。また、どのような活動を期待するのか。

**答弁** 座談会が出たご意見やアイデアの結果をもとに、防災士と再度意見交換会を開催したい。当市としては防災士から地域の防災に結び付く意見やアイデアをいただくとともに当市の防災力を高めていくため、自主的な防災士会による活動などを期待している。



## 佐藤 栄作 議員



### マイナンバーカードについて

**質問** 現在の職員と市民のマイナンバーカード発行枚数、普及率、電子申請の状況について。

**答弁** 職員の発行枚数は291枚普及率は67・6%、市民の発行枚数は10,718枚、普及率は29・5%であり、8,876人が電子申請を行った件数と捉えている。

**質問** 2022年度末までに市民全てに交付できるのか。

**答弁** マイナンバーカードの取得はあくまでも個人の意思に基づくものであり、国は令和3年度予算案にマイナンバーカード保有者に対して最大2万円のポイントを付与する新たな事業を計上し、県におきましても申請者に抽選で県特産品を贈呈するキャンペーンを11月からスタートするなど、マイナンバーカード交付に注力しており、促進されるものと期待している。

国や県の方針を踏まえ、更なる普及促進に取り組んでいく。

**質問** プッシュ型の出張受付を行っているのか。

**答弁** 市内5社において出張申請を行い、計53件の申請を受け付けた。新型コロナウイルス感染拡大により、しばらく控えていたが、感染状況を見ながら取り組んでいく。

**質問** マイナポータルの今後の活用について。

**答弁** 現在、当市がマイナポータルを利用できる範囲は、オンライン手続きの登録及び当市から市民へのお知らせ機能であり、子育て・介護等を中心とした32の手続きとなっている。マイナンバーカードの普及に伴い、マイナポータルは、今後、様々な分野で取扱項目が拡充され、市民にとって、更に便利になっていくものと推測している。

## 住安 康一 議員



### ヘルプマーク・ヘルプカード・逆ヘルプマークについて

**質問** ヘルプマーク・ヘルプカードの普及・周知のため、関係各団体等への働きかけや病院や医師会とも連携し、普及周知を図るべき。

**答弁** 新規の障害者手帳取得者のほか、手帳の更新や障がい程度変更の申請手続きなどの機会に周知する。また、関係者団体で構成する小千谷地域自立支援協議会を通じて広く知らせる。

**質問** 逆ヘルプマークの導入の提案について。

**答弁** ヘルプマーク・ヘルプカードがまだ周知されていない。類似マークの作成は混乱を招く可能性があるため、導入はしない。

### AEDの有効活用について

**質問** 救命協力員にはAEDの取扱いを含む救命措置の知識と経験を持つ消防のOBの方や防災士の方、講習を受けた町内会役員の方

などに登録してもらい、いざというときに消防署からの連絡により出動してもらう仮称「救命協力員制度」の提案について。

**答弁** 感染予防の対策、個人情報やプライバシーに対する課題、二次災害の危険性など課題が多いため、導入はしない。

**質問** すぐ近くの施設にAEDがあっても、夜間に人が不在なため使用できなかったなどということがあれば、改善策を見つける必要がある。収納ボックスを利用し、AEDの屋外設置を推進すべき。

**答弁** 盗難防止、維持管理の在り方、設置場所設定、除雪など様々な課題があり、導入はしない。

### 補聴器購入の補助について

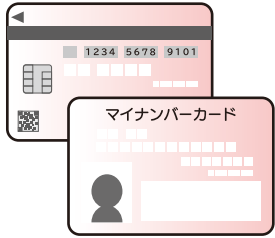
**質問** 障害認定を受けられないレベルであっても、耳鼻科を受診し、補聴器使用が必要と認められるときには、金銭的理由で購入をためらうことのないように、条件を設けたとしても購入補助をすべき。

**答弁** 「難聴・補聴器と認知症」に関する研究調査結果や県の助成整備の動向を踏まえ、専門医等の意見を聴きながら、制度導入に向けた準備に取り組む。

## 市政の内容を聞く

## 一般

## 質問



田中 淳 議員



小千谷市のエネルギー政策と総合支援学校の運営について

【質問】 脱炭素社会に向け、地方公共団体としての果たすべき役割や当市が置かれている状況についてどう考えているか。

【答弁】 当市として、「地球温暖化対策地方公共団体実行計画」の策定に取り組み、市民、事業者、行政が一体となって地球温暖化対策や脱炭素化への道筋を示しながら、具体化を進めていきたいと考える。市役所所有の電気自動車や充電器の導入の想定はしているが、今後の課題と認識している。

【質問】 新たに具体的に示される新エネルギーの技術開発はあるのか。またJR東日本信濃川発電所に対して次期水利権許可に絡めた要望は考えているのか。

【答弁】 信濃川発電所から放流される水を利用した小水力発電などについて、現段階では行政主導によ



る取組みについては考えていない。JR信濃川発電所の水利権更新時での、JRに対しての要望は今の段階では考えていない。

【質問】 総合支援学校の今後の児童生徒数の見通し、及び問題点についてお聞かせ願いたい。

【教育長答弁】 今後数年間の児童・生徒数は、50人〜60人程度であると考えており、施設面や学校運営面で支障がないよう努めてまいりたい。

【質問】 総合支援学校における医療的ケアの今後の対応について

【教育長答弁】 医療的ケア児支援連絡会を設け、医療的ケアを必要とする児童に関する情報を共有し、必要な支援が受けられるよう対応しており、今後医療的ケアが必要な場合には看護師等を確保するなどして対応してまいりたい。

長谷川 有理 議員



新型コロナウイルス感染症について

【質問】 3回目のワクチン接種が始まるが過去に副反応が出て3回目躊躇する方へ丁寧な対応を。

【答弁】 接種会場での医師との連携はもちろん、専門の新型コロナワクチン相談センターにおいて丁寧な情報提供や相談対応を行う。

【質問】 キャンセルが出た場合は。

【答弁】 前回の対応も考慮しながら今後調整していく。

【質問】 3回目は冬季のワクチン接種になる。所得制限を設けず市内高齢者へタクシー利用券配布を。

【答弁】 接種の国の補助は一律のタクシー券配布は認められない。福祉タクシーや在宅高齢者通院等支援事業の対象者には配布予定。片貝・東山・真人・岩沢に地域の接種会場を設け環境整備を図る。

【質問】 クラスタ化を防ぐためにも消防庁舎の仮眠室の個室化を。

【答弁】 増改築しないと難しい。

今後の小千谷市の医療体制

【質問】 小千谷総合病院は「救急拠点型」「地域密着型」のどちらになるのか。産科の維持は可能か。

【答弁】 あくまで市長として希望では「救急拠点型」「産科維持」だがその通りに行くとは限らない。

【質問】 医師が増えるよう県と連携する。

【答弁】 小千谷総合病院は厚労省の再編・統合の議論からは外れたが。

【質問】 災害対応とICT推進

【質問】 福祉避難所の対象者へどこへ避難すれば良いか情報の公表を。

【答弁】 要配慮者の中で該当者の把握など課題が多岐にわたり、公表の時期や内容は見込めない。

【質問】 自治体への利活用を。

【答弁】 学校の校内ネットワークを除き、10施設で公衆Wi-Fiを提供。うち5施設が基幹避難所とその他の避難所。

【質問】 ローター除雪車のICT実証実験の結果とシステム導入は。

【答弁】 稼働状況の記録が随時送られ業者が記録計を建設課に持参不要で効率的・省力化が図られたが、市民向けのネット掲載は費用対効果が低い。システムの使用や導入範囲を今後見極めたい。



## 阿部 守男 議員



### 除雪体制について

**質問** 機械除雪のJ・V体制見直しの必要性について

**答弁** 現行の共同企業体は、平成29年から導入している。今年で5年目となり、現在のエリアについて、見直しが必要な大きな問題なく、今年度も同じ体制とする。

**質問** オペレータ不足の確保の取組について

**答弁** 共同企業体申込の際に把握している人数は190人である。小千谷市全体のオペレータの人数や高速道路及び国道除雪隊とのオペレータの取り合いは承知していない。新潟県の除雪オペレータ担い手確保協議会の構成員になり、対策を検討している。農業法人等の掘り起しを行い、地道な活動が欠かせない。

**質問** オペレータの高齢化に対する人員確保と技術の継承、市内建設業者に工事発注について

**答弁** 市内業者への発注を優先する。建設業界の人の不足の解消に向けて、「おぢや仕事未来塾」に建設業者から参加していただくなど、市内建設業界をPRする事業への取り組みに協力していきたい。

**質問** 消雪パイプ路線の雪庇、狭小対策について

**答弁** 集中的な降雪時には、消雪パイプだけでは通行に支障をきたす場合は機械除雪を行うこととしている。雪庇の張り出しにより通行に支障がある場合は、雪処理をする。消雪パイプ路線より機械除雪路線を優先している。

**質問** 降雪量の基準値は10cmですが、どこでの計測か。計測地と山間地では降雪量に差が生じている対策は。

**答弁** 共同企業体の基地での降雪量としており、共同企業体の判断で出動している。

**質問** 新潟県長岡地域振興局小千谷分室維持課の存続について

**答弁** 地域振興局が統合されず、分室として存続するのは与板と当市。災害対策が重点的であり、必要な分室。今後も存続させるよう県に働きかける。

## 佐藤 隆一 議員



### 効率・集中から環境・分散へ

**質問** 地球温暖化対策について、CO2排出ゼロ宣言は行わないのですか。

**答弁** 12月定例会の招集あいさつで2050年までにカーボンニュートラル社会を目指すと言いました。

**質問** リサイクル率が低下しているゴミ処理業務の見直しは行わないのでしょうか。

**答弁** リサイクル率が低下しているとは考えていません。住民の理解の進化と行動の高まりが必要と考えています。

**質問** 小千谷市のリサイクル率は年々低下しています。リサイクル広場を市中央に移転し、「燃やして捨



混ぜるとゴミ  
分ければ資源

てる」から「分別」の徹底で根本的な政策転換が必要ではないでしょうか。

**答弁** リサイクル広場を市中央に移す考えはありません。現行の県外移動を継続し、新しい処分場の検討を進めます。

**質問** 原子力発電は、生み出すエネルギーがあまりに巨大で、生み出すエネルギーの7割は温排水として海洋中に捨てられ、温暖化対策とはなっていないませんか？

**答弁** エネルギー効率に関して、お答えすることはありません。

**質問** 柏崎刈羽原発の再稼働について、市民の安心安全を求める声をどのように考えていますか。

**答弁** 引き続き徹底した安全対策を市町村による安全対策に関する研究会を通じて国、県、東京電力に求めていきます。

**質問** 環境・田園都市おぢやの街づくりをどのように進めるのですか。

**答弁** 産直市場の経営に直接かわることは考えていませんが、現在の市場を周知するなど関係団体と連携した取り組みを進めていきます。

## 市政の内容を聞く

## 一般質問

平澤 智 議員



**防犯カメラ設置について**

**質問** 公共の建物敷地における防犯カメラ設置についての現状と今後の考え方について。

**答弁** 小中学校、全保育園、総合体育館、浄水場、おぢゃる、ちぢみの里、その他観光施設駐車場などに設置済。今後もプライバシー保護をはじめ県の指針により位置、角度を検討対応していく。

**質問** 街路灯や自動販売機を利用し電源確保や運用経費をそこから捻出する方式も実用化され、設置が進んでいるところもあるが、ランニングコストの削減も考慮した防犯カメラ設置の可能性について研究の予定は。補助制度については現在どうなっているのか。

**答弁** 情報が少ないため、今後情報収集し研究する。現在民間の補助制度は設けていない。

**質問** 伝統芸能後継者育成について  
新型コロナウイルス感染症対策による

り、どの団体も活動自粛を迫られ練習や発表の場中止に追い込まれてきたが、後継者育成事業の現状はどういった状況となっているか。もしくは連絡会議事務局としては把握しているか。

**教育長答弁** 全国的にも大きな課題であり、重要な課題となっている。発表の場の確保及び支援を契機とした練習機会のきっかけを作るよう心掛けてきた。「小千谷の民俗芸能の来歴をさぐる」というテーマで実演と講演会を実施。他に「魚沼子ども芸能まつり」へ参加モチベーションの維持に努めている。

**質問** 当市・県・国における支援の制度について現在どういった制度があるか。

**教育長答弁** 国や各財団法人においてさまざまな補助制度がある。当市においては後援や研究支援、補助金の案内をおこなっている。

**質問** 検討されている事業についてどういったものがあるのか。

**教育長答弁** 「小千谷市伝統芸能保存連絡会議」を今後再度開催する予定。各種団体からの積極的な参加を希望する。

参加を希望する。

**本会議をインターネット中継しています**

市議会ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。  
本会議当日のライブ中継のほか、本会議終了後概ね1週間後には、録画映像も配信しています。  
市政への一般質問で各議員の顔写真の下に二次元コードを掲載しています。スマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継をご覧いただけます。  
また、会議録も市議会ホームページで閲覧できます。  
(令和3年第4回定例会の会議録掲載は、2月末頃となります。)

**URL** <https://www.city.ojiya.niigata.jp/site/gikai/>

**市議会を傍聴してみませんか**

**第1回定例会開催予定**

- 2月25日(金) 第1日 議案上程説明
- 2月28日(月)～3月8日(火) 各常任委員会で審査
- 3月17日(木) 第2日 一般質問
- 3月18日(金) 予備日 一般質問 (質問者が多い場合に開催)
- 3月22日(火) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局 (Tel.83-3505) へお問い合わせください。  
委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

**市議会だよりをアプリで配信中** 

スマートフォンやタブレット端末で使える無料アプリ「マチイロ」で配信中です。ぜひご利用ください。



# 議会報告会

議長あいさつ

議長 本田 剛

今回の議会報告会も紙面報告となりました。ご承知のとおり、新型コロナウイルスは形を変え、いまだ猛威を振るっている現状であり、感染防止を最優先させた結果です。しかしながら本市議会活動については記載のとおり、粛々と進んでおります。紙面をお読み頂き、本市議会の活動にご理解を頂くと共に、何かご意見・ご質問等ございましたら、お気軽にお聞かせ下さい。宜しくお願い致します。

## 〔令和3年第1回定例会〕

### 議決内容及びコロナ関連予算

○議案第1号 令和3年度小千谷市一般会計予算について

第1回定例会では、新年度予算の審議が主な議題であり、本市の一年間の事業予算を決定する重要な議案を審議するものです。主な議決内容についてご報告いたします。

○議案第1号 令和3年度小千谷

市一般会計予算について

一般会計は169億5千万円、特別会計は78億143万8千円、企業会計は61億9592万6千円、予算総額は309億4736万4千円となり、前年比5・6%減少となりました。

主な事業として、図書館等複合施設整備事業に約1億6300万円、常盤橋地区における錦鯉を活用したプロモーション事業に約5千万円、消防緊急通信指令システム整備に6千万円、小中学校、総合支援学校情報化推進事業に約4200万円など、中心市街地の活性化、人口減少対策、情報通信技術の利用促進や人々が支え合う持続可能な地域づくりに向け慎重審議の結果、賛成多数で可決されました。

○発議案第1号 小千谷市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

本改正は、全国市議会議長会が示す標準市議会会議規則の一部改正を受け、本会議、委員会の欠席の届出及び請願への押印関係について改正するもの。全員異議なく可決。

○発議案第2号 降雪地において安心した交通輸送に関する意見書

CO2排出量の制御に電気自動車は有効と考えますが、降雪により高速道路から抜け出せなかった場合など長時間の暖房などには電気自動車では耐えられないので、雪国の状況を考え政策の実行を促すものです。全員異議なく可決。

結果、全ての議案が可決されました。

○コロナ関係の補正予算について  
専決処分、議会上程案

すべて国の補助金・交付金

・令和2年度第8号 新型コロナウイルスワクチン接種対策負担金 1億6034万2千円  
・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金 8683万3千円  
・学校保健特別対策事業補助金 (消毒業務) 680万円

・令和3年度第1号 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1億40万3千円 新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金1677万7千円  
・令和3年度第2号 新型コロナウイルス感染症セーフティネット

強化交付金 2892万8千円

地域観光域内連携促進事業補助金 (会席、宴席、プレミアム) 1500万円  
・令和3年度第3号 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金 7657万3千円

・令和3年度第4号 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 4095万7千円

・令和3年度第5号 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 100万円 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金給付事業補助金 1億1600万円

・令和3年度第6号 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 358万円  
・令和3年度第7号 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金給付事業補助金 8179万円

・令和3年度第8号 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 4千959万円 地方創生テレワーク交付金 550万円  
○令和3年度10号 生活困窮者自支援事業 2千100万円・子育て世帯等臨時特別支援事業 4億8498万6千円

## 【議会基本条例に基づく

### 委員会活動】

#### ○議会改革推進委員会

本委員会は「市民に開かれた身近な議会」をめざし、令和元年9月19日から今日まで、延べ19回開催し、子ども議会の開催やタブレット端末の導入、議場のバリアフリー化等々、様々な角度から検討して参りました。今後は「要望書」という形で、市長に提出する予定です。要望書の主な内容は、以下のとおりです。①子ども未来議会の開催（今年11月末予定）②議場の有効利用（本会議前にコンサートの実施等）③議場の改善（傍聴席のバリアフリー化等）

#### ○広聴広報委員会

「おぢや市議会だより」のリニューアルを検討し、昨年9月25日号から、表紙の写真をSNS（インスタグラム）で募集し、委員会で選択し掲載しています。今後ホームページの更なる充実、そして引き続き市民アンケートの実施や、地区別の議会報告会の開催等、検討を継続します。

## 【新型コロナウイルス

### 感染症対策】

小千谷市議会では、小千谷市新型コロナウイルス感染症対策本部が設置されたことに伴い、令和2年2月29日に小千谷市議会新型コロナウイルス感染症対策支援本部（以下支援本部）を設置しました。令和3年度の活動につきましては7月30日から発生した市内の感染拡大に伴い、8月11日に支援本部会議が開催され各議員から寄せられた緊急要望事項について検討がなされ、13項目の緊急要望を正副議長が小千谷市並びに小千谷市教育委員会へ提出しました。8月24日再度支援本部会議が開催され要望事項に対しての対応状況について説明を受けました。

10月20日、対策支援本部会議が開催され緊急事態宣言解除後の国・県・自治体の役割分担についてと今後の拡大に備えての取り組みについて説明がありました。市議会としての支援本部の在り方、取り組んでいく事の確認、意見交換を実施致しました。

## 【ガス事業民営化について】

査委託費用）に対して、賛成、反対の意見がありました。

賛成意見の要旨として、今はま

3月19日、第一回定例市議会終了後の議員協議会で大塚市長から「小千谷市ガス事業のあり方検討委員会」から、3月4日「小千谷市のガス事業は、早期に民営化することが望ましい」との答申があったと報告がありました。その後4月16日、議員を対象の説明会、学習会が開かれました。主な内容は、技術者確保、耐震化のために多額の費用がかかる、エネルギーの自由化への対応など市では難しい、公営の役割は終わった、現在、財政状況は健全であり、今後10年収益は確保される、などでした。4月28日、小千谷市の管工事組合の意見が小千谷市議会に届けられました。民営化する事で大きな影響が出て、将来の経営が不安などの反対理由が議会に届けられ、組合役員と議員が意見交換しました。その後、6月18日、議員からの疑問、質問をガス水道局に提出し、勉強会を実施しました。第3回定例会におけるガス事業の補正予算（民営化すべきかどうかの調査委託費用）に対して、賛成、反対の意見がありました。今はまだ、ガス事業民営化の賛成、反対ではなく、ガス事業の資産価値、譲渡先、いくらで売れるのか、事業を受け継いでくれるのかなどの議論をしていく上で専門性の高い調査資料作成の委託は欠かせないので賛成。反対意見の要旨として、60年の歴史を持つ市営ガス事業は、市内業者を中心に日常業務を行い、議会のチェックも入り、利用者が参加した透明性の高いガス事業である。民営化検討資料作成費1400万円もの調査費用をかける前に、市営か民営か十分な議論を行い、方向性を出してから調査するのが筋であり、本予算は、事業売却を決めたものではないと言いつつも、実質的にそちらに向けて舵を切る第一歩と理解し、補正予算に反対するというものでした。最終的に9月22日第3回定例会最終日、民営化すべきかどうかの調査費用1400万円の補正予算案が、賛成多数で可決されました。

【小千谷市

手話言語条例の見直し】

「互いに尊重し合い、支えあい、いきいきと暮らせるまち」の実現を目指し、平成30年4月1日に、小千谷市手話言語条例が施行され、3年、本条例の見直しが、市議会内で組織された検討委員会で検討され、見直しはありませんでしたが、ろう者及び手話に対する理解や普及への更なる推進のため、昨年9月22日に、市長に提言書を提出しました。内容は以下のとおりです。①市民への啓発活動の推進②意思疎通支援の推進③市内事業所の取り組み実態の把握と啓発④緊急時の対応の更なる検討と広報の充実。



議会日誌 10月～12月

〈10月〉

- 6日 広聴広報委員会
- 13日 広聴広報委員会
- 20日 新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議
- 25日 議会改革推進委員会

〈11月〉

- 4日 民生産業委員協議会
- 12日 議会改革推進委員会
- 18日 国営信濃川左岸流域土地改良工事議員視察
- 22日 議会運営委員会
- 30日 第4回定例会（本会議）

〈12月〉

- 2日 常任委員会連合審査会
- 3日 総務文教委員会
- 6日 民生産業委員会
- 14日 議会運営委員会
- 15日 本会議（第2日）
- 17日 本会議（第3日）
- 〃 本会議（第4日）
- 〃 議員全員協議会

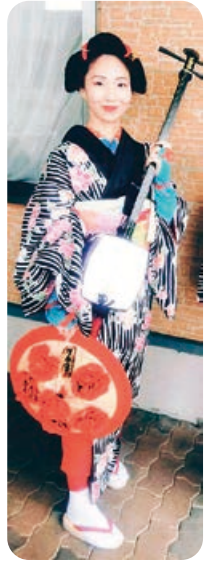
市議会だより表紙画像募集中

小千谷市議会広聴広報委員会Instagram 運用中

「#だいすきなおぢや」を付けてInstagramに投稿された画像の中から市議会だより表紙を選出し、掲載いたします。  
あなたの大好きなおぢやの風景をご投稿ください！



小千谷市議会  
広聴広報委員会  
Instagram



### 横山 歩美 (元中子)

私、民謡が縁で夫婦となり「みんふう(民謡夫婦)」活動しています、その婦の方です。「みんふう」の活動は、楽器販売、三味線教室、演奏活動、といったものがあるのですが、今回は演奏活動分野である「みんふうざ」について知っていただけならなと思います。「みんふうざ」では、邦楽を中心に唄、踊り、演奏等を、みんふう+愉快な3人の計5人で、無いものを補い合い、譲り合い奪い合い押し合いへし合いながら切り盛りしています。獅子舞なんかも舞います。

その目的といたしましては、「小千谷の賑やかし」を自称し、小千谷のそこで賑やかに演奏したい!その一心に

「みんふうざ」では、邦楽を中心に唄、踊り、演奏等を、みんふう+愉快な3人の計5人で、無いものを補い合い、譲り合い奪い合い押し合いへし合いながら切り盛りしています。獅子舞なんかも舞います。

この菓子には「めめ」(見た目 容姿)が良くなるという効能があるそう!小千谷に美男美女が溢れているわけはこれだったのですね。

僭越ながら唄にしましたので皆様ご存知の馬鹿囃子にのせて脳内再生してみてください。

ヨイヨイヨイ、ソーレ!

江戸では浮世絵 小千谷じゃ絵紙 縮行商の江戸土産

外は白雪 座敷に入れば 絵紙彩る 別世界

へひいな祭りにゃ 小千谷におじゃれ めめの良くなる菓子くれる

来たる2/27~3/6、「みんふうざ」はちんどんやのよな様相で絵紙やお雛様で飾られた場を賑やかし回っています。ちんどんや+チントンシャン(三味線) 〓「ちんどんシャン」とか言って。是非、「みんふうざ」と共にひいな祭りを楽しんでいただきたいと思っています。

## 編集後記

新年明けましておめでとうございませう。市民のみなさまにおかれましては、よき新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症により医療をはじめ、経済、労働、教育など市民生活のあらゆる分野で甚大な影響を及ぼし、今なお収束の見えない状況にあります。ワクチン接種は12歳以上で希望された方々への2回の接種率は、9割を超え、3回目接種に向けた準備を行っております。また売上に大きな打撃を受けた飲食業への緊急経済対策として、「おぢや食べ得!チケツト」を発行し、消費活動の活性化と消費喚起に取組んでおりますので、是非ご利用いただきたいと思っております。

今年の干支は「虎」です。成長や始まりの年と言われています。みなさまにとって本年が新しい日常が始まり、そして成長する飛躍の年となりますようご祈念申し上げますとともに、市議会に対し、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

編集委員 上村 行雄